

# 今後の技能実習生及び特定技能外国人の 受入見込について

令和元年11月11日  
鹿児島県外国人材受入活躍支援課  
株式会社九州経済研究所

## 1. 推計に当たっての基本的な考え方

- 外国人労働者数6,862人のうち技能実習生が4,343人と約2 / 3を占めており、近年の外国人労働者数の増加の大半は、技能実習生の増加によるものである。
- また、「技術・人文知識・国際業務」については、今後も企業ニーズにより増加していくと考えられるが、総数としては少ない状況である。
- 一方、留学生による資格外活動については、各大学や日本語学校等の受入可能人数があることから、今後の大幅な伸びは見込みにくい。
- 2019年4月に開始された特定技能については、現時点では全国的に受入れが進んでいないが、今後5年間で最大34.5万人と見込まれており、中でも本県においては技能実習2号・3号からの移行が中心になると考えられる。
- 以上のことから、概ね5年後の2024年における技能実習及び特定技能について推計を行うこととする。

## 2. 事業所アンケート結果等による推計

### 業種別ニーズ予測（その1）

- 製造業、農業、建設業について、事業者アンケート結果（外国人労働者数の実績値および5年後の見込）、鹿児島労働局統計値、関係団体へのヒアリング結果を基に、技能実習生数及び特定技能外国人の5年後のニーズ予測値を試算すると、以下のとおりである。

業種	① 2018年10月末 技能実習生数 (鹿児島労働局 統計値)	② 技能実習生数の 5年後(2024年) 予想倍率 (事業者アンケー ト結果による)	①×②	追加要因 (注1)	5年後(2024年) のニーズ予測
製造業(注2)	2,632	1.29	3,395	-	3,400
農業	952	1.41	1,342	700	2,000
建設業	457	2.16	987	-	1,000

(注1) 農業の追加要因については、JA中央会等への聞き取り調査による。

(注2) 産業分類上は「卸売業・小売業」に分類される事業者において食品製造部門に従事している技能実習生が多く含まれていると考えられることから、便宜上「卸売業・小売業」の人数を加算している。

## 2. 事業所アンケート結果等による推計

### 業種別ニーズ予測（その2）

- 介護については技能実習が2017年11月からスタートしたことや、宿泊業、飲食業については技能実習2号への移行対象職種になっていないことから、これらの業種は2018年10月時点において技能実習生数が少ない状況である。
- 介護、宿泊業、飲食業については、県内の産業別従事者数に基づき、国の特定技能外国人受入見込人数に県内の全国シェアを乗じて受入見込数を試算すると、以下のとおりである。

業種	①全国における 特定技能外国人の5年 間の受入見込数	②鹿児島県の 従事者数シェア	①×②	鹿児島県における 受入見込数
介護	60,000	1.72%	1,031	1,000
宿泊業	22,000	1.75%	385	400
飲食業	53,000	1.06%	563	600

## 2. 事業所アンケート結果等による推計

### 業種別ニーズ予測（その3）

- 技能実習生及び特定技能外国人に係る5年後の受入ニーズ予測は8,400人と推計される。
- 技能実習生数の2018年10月末実績（鹿児島労働局統計値）、2019年7月末実績（アンケート結果）等から推計した業種別の2024年（5年後）の受入見込数をまとめると、以下のとおりである。

業種	2018年 10月末実績	2024年(5年後) 受入見込	増加数 ②-①	増加率 (②/①×100) -100
	①技能実習生数 (鹿児島労働局統計値)	②技能実習及び特定技 能等の受入見込数		
製造業	2,632	3,400	768	29.2%
農業	952	2,000	1,048	110.1%
建設業	457	1,000	543	118.8%
介護	—	1,000	1,000	—
宿泊業	12	400	988	8,133.3%
飲食業		600		
合計	4,053	8,400	4,347	107.3%

※技能実習2号移行対象職種がなく、特定技能のみの受入れとなる宿泊、飲食については、上記受入見込数において、当面、留学生の資格外活動等によりカバーされることも考えられる。

### 3. 監理団体アンケートによる推計（参考）

- 監理団体アンケート結果は（A）のとおりであり2019年7月末実績値は2,216人、5年後予想倍率は1.78倍となり、5年後の県内技能実習生数の予想値は3,946人と推計される。
- 公表されている2018年10月末までの鹿児島労働局統計値から求めた2019年7月末の予想値（5,047人）と監理団体アンケート値を比較すると、監理団体のカバー率は43.9%となっている。
- 5年後については、県内監理団体の増加等に伴い、県外監理団体からの切り替えや、新規に技能実習生を受け入れる企業が県内監理団体を利用することが想定される。
- 5年後の県内技能実習生数の予想値は、監理団体アンケートの5年後予想値（3,946人）を基に、監理団体カバー率を55.0%と想定し、以下（B）のとおり7,200人と推計される。
- なお、この推計については、現在技能実習2号移行対象職種になっていない宿泊業、飲食業は含まれていない。

【鹿児島労働局統計値および監理団体アンケート結果による推計（単位：人）】

	2019年 7月末	2020年 3月末 予想値	5年後 (2024年) 予想値
(A)監理団体 アンケート値	2,216	2,819	3,946
(B)監理団体 アンケート/カバー率等	5,048	6,421	7,200